

めざすまちの姿

暮らしやすく 幸せを実感できるまち

第2次あわらし総合振興計画の目指すまちの姿である「暮らしやすく 幸せを実感できるまち」をもとに、計画を進めていきます。

後期基本計画の基本目標

活力人口 **10万人** あわらしの創造

現在の見込み **8万人** ▶ 目標 **10万人**

「定住人口」に加え「関係人口」や「交流人口」の中から、多様な形であわらしと強いつながりを築き、あわらしに活力をもたらしてくれる人たちを「活力人口」としました。

総合振興計画とは

これからのあわらしをどのように作っていくか、その方向性を描いたまちづくりの指針となるものが総合振興計画です。どのようなまちを目指すのかを示した「基本構想」と、それを実現するために取り組むべきものを示した「基本計画」で組み立てられています。

取り巻く環境の変化

加速度的に進行する人口減少や少子高齢化、温室効果ガスの排出量増加による地球温暖化、さらには、今回、地球規模で拡大したCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）など、第2次あわらし総合振興計画前期基本計画の期間中にもあわらしを取り巻く社会情勢には大きな変化が見られました。加えて、2030年までに達成すべき国際社会共通の17の目標であるSDGs（Sustainable Development Goals）も広く浸透し、「誰一人取り残さない」社会の実現が求められています。

将来が予測しづらくなった一方で、通信技術の発達により、地方が大都市や世界とつながりやすくなった時代だからこそ、地域独自の価値を見出し、地域ならではの新たな魅力を創造することにより、持続可能な地域として発展していく必要があります。

引き続き、市民と行政が一体となつてまちづくりを進めていくため、また、まちの将来像を共有し、多くの人の共感を得ながら各種施策に取り組んでいくため、第2次あわらし総合振興計画後期基本計画を策定しました。

活力あふれるまちづくり

少子高齢化が続くあわらし市において、市民一人一人が「暮らしやすく 幸せを実感できるまち」を実現していくためには、数年後の北陸新幹線芦原温泉駅開業を、市勢を飛躍的に発展させるビッグチャンスとして捉え、その効果を最大限に引き出すとともに、まちづくりや人づくりなどに、一人一人が知恵を出し合い、覚悟を持って行動することが重要です。

このため、10年後、20年後を見据え、「誰もが 夢や希望をもち 元気に笑顔で暮らす 活力あふれるまちへ」を後期基本計画のテーマとし、市民が一丸となって、活力あふれるまちづくりを力強く進めていきます。

問合せ 政策広報課 企画G

73-80005



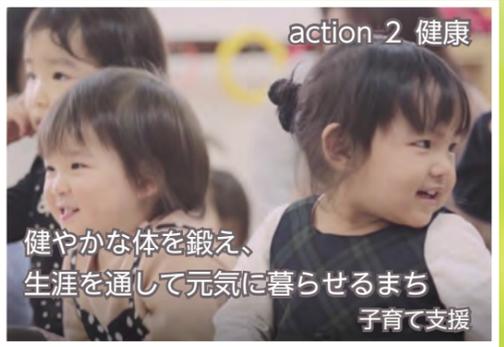
▲市ホームページ

誰もが夢や希望を持ち

元気に笑顔で暮らす

活力あふれるまちへ

6つの施策の柱



6つの施策の柱を掲げ、総合的かつ体系的な施策の推進を図ります。

